

## 「インクルーシブな学校運営モデル事業」カリ・マネ便り⑤

カリキュラム・マネージャー

### 学校間交流の成果・課題を共有

7月24日(水)、更別農業高校図書室において今後の学校間交流をテーマに意見交換会を行いました。

参加者は次のとおりです。

(更農) 教務部長、本年度担当者、実習部長、特別支援コーディネーター

(中高養) 主幹教諭、教務部長、本年度担当者、研究部長、特別支援コーディネーター、カリキュラム・マネージャー(進行)



意見交換では、これまでの学校間交流が、同年代の生徒と触れ合いや職業体験の幅を広げる大切な機会になっているとの認識を共有する一方で、次の様な課題についても話し合われました。

- ① 交流のねらいを達成する観点から内容を改善する必要がある。
- ② 交流の機会を拡充していく必要がある。
- ③ 事前指導・事後指導を工夫する必要がある。

その後、2グループに分かれ、①、②をテーマにブレインストーミングを行いました。

Aグループで交流された意見(Bグループは次ページに掲載)

交流のゴールを明確化、予算(移動)の活用、年度内に行き来、合同販売会、一緒に校外イベントに参加、お互いの学校祭にブース設置、既存の行事に参加、生徒会同士の交流、共通でできる授業、進路学習の相互提供(外部講師など)、交流の話の会、中札内(更別)について学ぶ、コミュニケーションが必要なゲーム、オンラインの交流、選択授業、受けてみたい授業のお試し受講、部活、運動等の交流、パークゴルフ大会、受入受注(調理学習、設備の物)お互いに移動して中間地点でレク、教員の交流(硬・軟)

また、③にかかわっては、既に作成してある学校や学級の紹介動画などを交換し、事前指導に活かすなどの取組を行うことになりました。

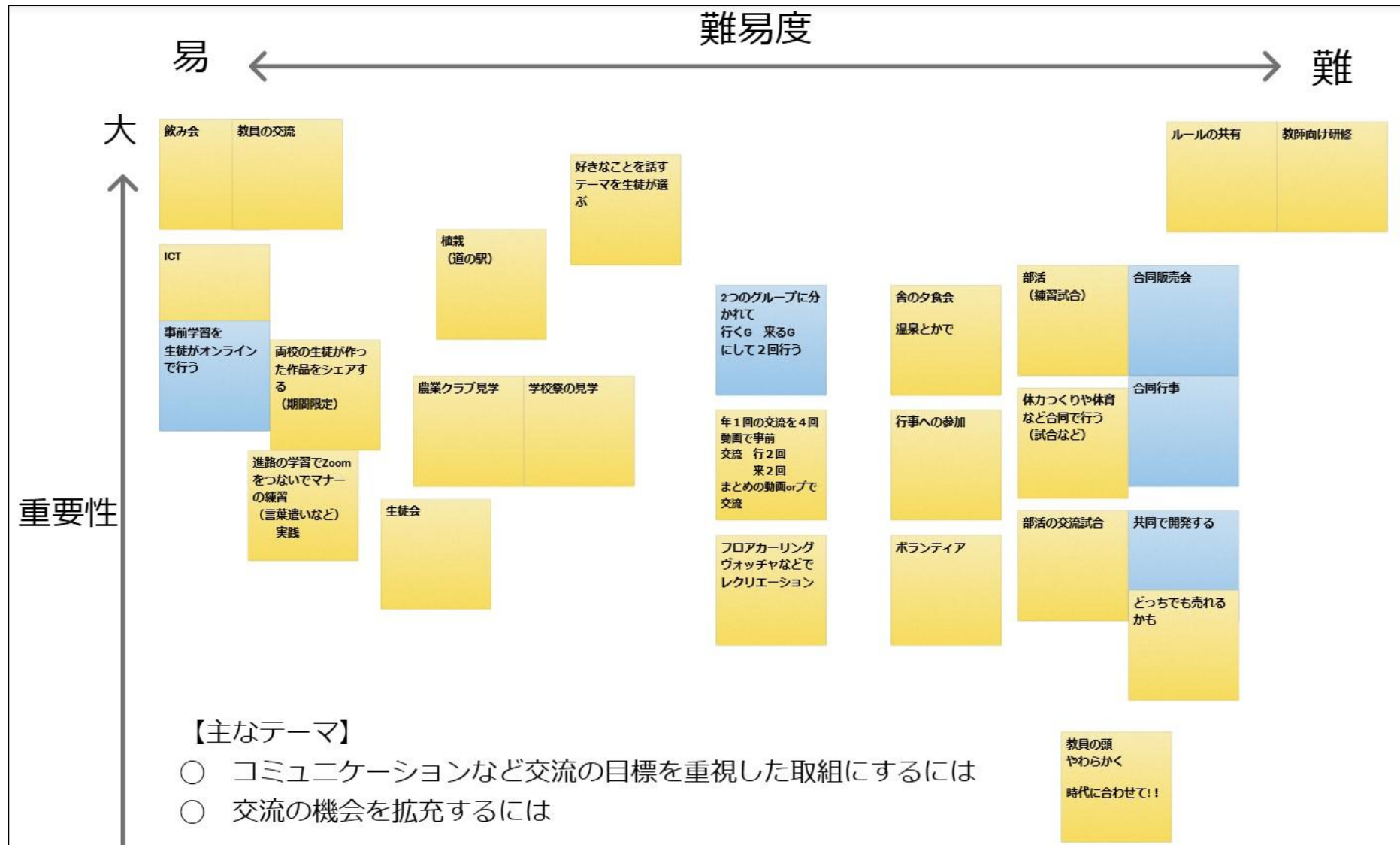
### 更農の先生方が中高養「夏期講演会」に参加

8月6日(火)13:00、中高養を会場に夏期講演会が開催されました。今年度はモデル事業の合同研修会の一環として実施され、本校及び村内小中学校に加え、更別農業高校からは10名近くの先生方が参加しました。

講師は札幌豊明高等支援学校の菅原尚俊教諭が務め、改訂生徒指導提要で示された「プロアクティブな生徒指導」の事例として、豊明高等支援学校で実践している複合的なプログラム(Mプロ)を、演習を交えながら紹介していただきました。

※この便りは更農、中高養の教職員の方々に向けて作成しています。

Bグループ



※この便りは更農、中高養の教職員の方々に向けて作成しています。